



未来の先生展
2017

こどもたちのための放課後

～遊ぶ権利、休む権利、成長する権利～

パネルディスカッション公演形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 3号館3F 308教室

講演者 中山勇魚

内容

男女平等や労働人口減少を背景に女性の社会進出が進む日本、政府も“女性が輝く社会”を旗印に子育て新施設としての学童保育の定員大幅増を目指しています。2006年に約68万人だった学童保育の入所児童数は2016年には約107万人とたった10年で40万人近く増え、共働きやシングル家庭の増加から今後ますます学童保育の重要性が高まっていくことは間違いのないでしょう。

しかし、本来放課後の時間はこどもたちのための時間です。友達と自由に遊び回り、疲れた時は休息し、さまざまなものごとや社会に触れて力強く成長していく権利があります。こどもたちの生命身体を守ることは言うまでもなく大切なことですが、保護者が働いていることを理由に施設に閉じ込めてこどもたちのさまざまな権利を奪ってしまっているのでしょうか。厳しい予算の中で苦戦する学童保育業界ですが、その中で“こどもたちのための放課後”を実現するために実践していることについてお話します。

ここに注目！

民間学童CFAKidsは、従来月に5万円～10万円ほどかかってしまう民間学童保育の中で月に2万3千円の保育料金で運営を行っています。公立の学童に比べると保育料金はかかっていますが、こどもたちの放課後を真剣に考えている保護者の共感を集め、2013年の開校から4年目で8校舎と大きくその数を増やしています。

また、全国9万3千人の学童保育指導員の8割が非正規雇用、7割が年収150万円以下という状況の中、職員は全員正規雇用で年収300万円以上で優秀で熱意ある人材が全国から集まっています。こういった環境が実現できるのも“こどもたちのための放課後”という考え方に多くの共感や支援が集まっているからです。

講演者プロフィール



講演者プロフィール

特定非営利活動法人 Chance For All 代表理事

早稲田大学教育学部卒業。10代の頃に家庭の事情で夜逃げをし、家族で都内を転々とする生活を行う。そのことから、生まれ育って家庭や環境でこどもたちの人生が左右されない社会の実現を目指す。在学中に学童保育の指導員を勤め、卒業後は保育関係の企業に就職。経営や企業について学ぶ為にIT企業での勤務を経て2013年に特定非営利活動法人 Chance For Allを設立。

講演者から参加者へのメッセージ

放課後の価値は、放課後に関わっている人間ならば誰もが感じていることですが社会一般にはなかなか理解されず「小学生なんて遊ばせておけばいいじゃん」といった価値観が支配的なのも事実です。みなさんと放課後の価値やその発信について考えていける時間にできれば幸いです。





未来の先生展 2017

つながる、ひろがる、うまれる

子供から大人まで参加できる、国内最大級の教育イベント
世界・日本全国から集まる、体験型“未来の教育ショーケース”

次期学習指導要領の改訂を見据え、主体的・対話的で深い学びをはじめとして、これからの学校教育に役立つプログラムが充実しています。

日時

8月26日(土) 27日(日)

会場

武蔵野大学 有明キャンパス

貸し切り

東京都江東区有明3-3-3 (国際展示場駅徒歩7分)

参加費

1日券： 大人 **2,000円**、大学生・大学院生1,000円、高校生以下無料

2日間券：大人 **3,000円**、大学生・大学院生1,500円、高校生以下無料

最新情報・詳細は Web にてご確認ください。



<http://www.mirai-sensei.org/>

QRコードでもアクセスできます！

